

# Wismettac Letter

ウィズメタックレター

ビジネスレポート

**Business Report**

2020.1.1-2020.12.31



世界の食産業に  
かかわる諸問題を解決し、  
新たな価値を創造・提供する  
グローバルソリューション  
カンパニー



もっと知りたい!

## 西本Wismettacホールディングス

今回は**欧州**の事業戦略についてご紹介

当社グループでは、欧州にてリージョン制度を導入しております。アジア食グローバル事業をベースとした事業展開を行っておりますが、2020年度はSSP Konsumgüter TRADE & CONSULT GmbH(ドイツ)、Comptoirs Des 3 Caps SAS(フランス)の完全連結化等、拠点拡充を行ってきました。今後は各拠点一丸となって商品開発等の新規ビジネスにも力を入れてまいります。

### 欧州でのWismettacグループについて

Wismettacグループは、オランダ・イギリス・ドイツ・フランスの4か国に拠点をもち、既存ビジネスであるアジア食グローバル事業をベースに、欧州各国の外食産業等に向けた商品の販売や調達等を行っています。各国のニーズ、特性を生かしながら、Wismettacグループの強みとするクロスボーダーなビジネスモデルを欧州でも展開してまいります。



### SSP Konsumgüter TRADE & CONSULT GmbH(ドイツ)と Comptoirs Des 3 Caps SAS(フランス)連結子会社化

NTC Wismettac Europe B.V.はこの度、ドイツのSSP Konsumgüter TRADE & CONSULT GmbHとフランスのComptoirs Des 3 Caps SASを連結子会社化致しました。特に長年、親密な取引関係にあったSSP社のグループ化により、ドイツ国内の市場シェアのさらなる伸長を可能とすると共に、欧州のWismettacグループの拠点との連携や欧州東部・ロシアへの事業展開の推進をしていきます。今後は欧州におけるアジア食グローバル事業の基盤を支える存在となることを目指してまいります。



### 製品開発、成長戦略等について

欧州ではアジア食グローバル事業において、日本食飲食店・小売店等の既存顧客のニーズの変化に応え、日本食の新規商材ラインやホテルチェーン向けの冷凍寿司商材等の商品開発、販売に力を入れてまいります。当社のプライベートブランドである「Shirakiku」を基に、既存の日本食・アジア食マーケットのみでなく、現地のマーケットニーズにあった商品の開発を行い、新たな販路を開拓することでさらなる事業の伸長を見込んでいます。

## TOP MESSAGE



「食の領域」及び

「食と新たな領域の融合する領域」

での専門的グローバルソリューション

カンパニーを目指します。

代表取締役会長兼社長 CEO 洲崎 良朗

株主・投資家の皆様におかれましては、日頃から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。2020年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、人々の生活スタイルが予想以上の速さで変化を遂げました。当社を取り巻く事業環境もまた、フードテックやデジタルトランスフォーメーションの流れにも後押しされ、世界的に大きな変革の波にさらされています。そのような環境下を好機と捉え、昨年公表いたしました中期経営計画において、私共は当社グループの目指す方向性として、「医(ヘルスケア)と食の融合を目指すワンストップソリューションカンパニー」を掲げました。100年以上の歴史をもつ「食」に携わる会社として、当社が果たしうる社会的意義や強みをふまえ、「食と医の領域」をより発展させた形で展開していきたいと

考えております。グローバルなサプライチェーンを展開している強みを活かしながら、より個人化・多様化されていく様々なニーズに対応するべく、食の領域と、「医」[Eco]「新しいライフスタイル」そして「新しいビジネスの国際展開アシスト」という、新たな領域と融合する分野において、イノベティブで専門的なソリューションをグローバルに提供できる事業体の完成を目指してまいります。一方で、今まで培ってきた既存事業につきましては、コロナ禍による食生活の不可逆的変化も踏まえつつ、サプライチェーンの効率化改善やITインフラへの投資、PB商品の開発推進など、ビジネスモデルの再構築と生産性の改善をもたらすプロジェクトに注力し、収益力の強化に努めてまいります。

## 2020年12月期の事業の概況

2020年の業績としましては、売上高は1,684億円(前期比7.8%減)、営業利益は19億円(前期比54.4%減)、経常利益は17億円(前期比62.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億円(前期比59.2%減)と増収減益となりました。

セグメント別で見ますと、日本食を中心とするアジア食グローバル事業におきましては、3月以降、世界各地におけるロックダウン発動により、当社グループの主たる取引先である外食産業向け販売は、一時急速かつ大幅に落ち込みました。その後、各国の段階的解除に伴い、テイクアウト・デリバリー等の業態ヘシフトする取引先に

応じ、当社も商品構成の見直し等の対策を行いました。一方で量販店等の小売業態向けの販売は、家庭内消費が増加したことで、年間を通し好調を維持しました。しかしながら、外食産業向け販売の減少を補完するには至らず、結果として減収減益となりました。

農水産商社事業におきましては、3月以降の緊急事態宣言発令及び外出や営業の自粛要請の影響により、外食産業の需要が大幅に減少しました。特に主力の柑橘類の売上が減少し、販売価格も大きく低迷しました。7月以降は、天候不順による国産青果の不調をうけて輸入青果の需要が拡大し、量販店向け販売を中心に数量・価格ともに安定的に推移しましたが、上期における減少を補完するには至らず、通期では減収減益となりました。

### 2020年12月期 経営成績

売上高	1,684 億円
営業利益	19 億円
経常利益	17 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	10 億円

## 2021年12月期の取り組みと見通し

2021年は、売上高は1,870億円(前期比185億50百万円増)、営業利益は20億円(前期比17百万円増)、経常利益は17億円(前期比15百万円減)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億円(前期比16百万円減)となる見通しです。

(単位:億円)

		2019年12月期	2020年12月期
アジア食グローバル事業	売上高	1,288	1,168
	営業利益	41	18
農水産商社事業	売上高	498	479
	営業利益	7	6
その他事業	売上高	39	36
	営業利益	1	1

### 2020年12月期の 減益要因

■ 新型コロナウイルス感染症の拡大により世界各地で経済活動の制限

■ 将来の経済環境に対する不透明感から、個人消費が低迷

政策投資の計上は、グローバル経営、新規事業開発などの専門スキルをもつプロフェッショナル人材の採用や、デジタル化への投資を実施するものです。北米地域においては物流・オペレーションの整備及び新規販路の開拓、北米以外の地域においてはエリア別のマネジメント体制の構築と強化、グループ全体では取扱商品の拡充及びグループ横断の物流・オペレーションの整備・強化等の取り組みを一層推進してまいります。

### 2021年度の数値目標

売上高	1,870億円
営業利益	20億円
経常利益	17億円
親会社株主に帰属する当期純利益	10億円

### 着眼点

- 1.食のサプライチェーンのソリューション
- 2.食と医の重なる領域のソリューション
- 3.食とEcoの重なる領域のソリューション
- 4.食と新しいライフスタイルの重なる領域のソリューション
- 5.Migration Service Business (新しいビジネスの国際展開アシスト)

### 2021年12月期の取り組み

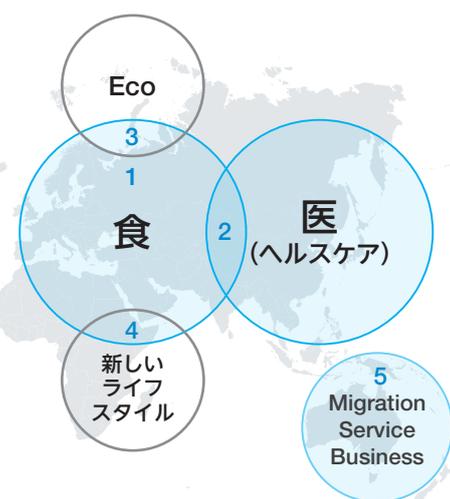
既存事業の生産性改善に注力、収益力を強化すると共に新領域で次世代の事業を創成

#### アジア食グローバル事業

- 日本食飲食店・小売店等の既存顧客のニーズの変化に対応できる商品開発力の推進
- 新たな販路を開拓し事業基盤の一層の拡充

#### 農水産商社事業

- 国内卸売市場への販売維持・利益確保
- 量販店・中食・外食・食品メーカー及び海外販路の拡大



## 株主の皆様へのメッセージ

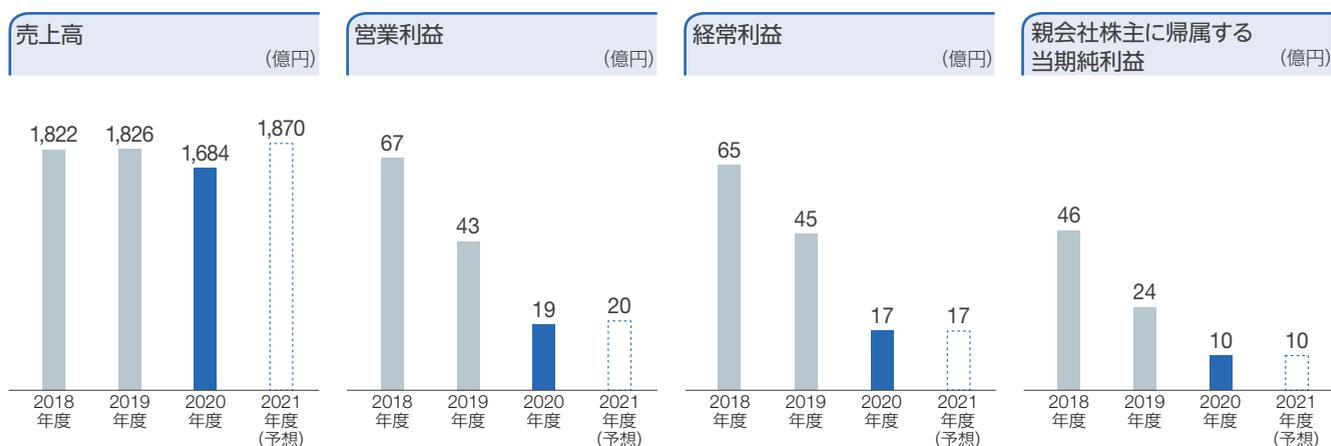
利益還元としましては、将来の事業展開と財務体質強化のための内部留保を確保しつつ、30%を目途とした配当性向を基本方針としております。2021年につきましては、昨年末以降の新型コロナウイルス感染症の再拡大及びロックダウン等の規制再強化の動き等、収束状況が未だ不透明であることをふまえ、現状、中間配当は「未定」としてはおりますが、中間・期末をあわせた通期合計では、2020年12

月期と同様、1株あたり20円を予定しております。

既存事業では業績回復を着実に目指していく一方で新たな領域を積極的に展開することにより中長期的な企業価値向上に努めてまいりますので、株主・投資家の皆様におかれましては一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結財務ハイライト

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度(予想)
売上高	(億円)	1,822	1,826	1,684	1,870
営業利益	(億円)	67	43	19	20
経常利益	(億円)	65	45	17	17
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	46	24	10	10
純資産	(億円)	515	523	508	—
総資産	(億円)	837	965	1,136	—
1株当たり純資産	(円)	3,589.58	3,646.41	3,515.28	—
1株当たり当期純利益	(円)	322.18	173.71	70.80	69.67
自己資本比率	(%)	61.5	54.2	44.4	—
ROE	(%)	9.1	4.8	2.0	—



## 2020年12月期 セグメント別の概況

売上高構成比 (%)



### ホームページのご案内

当社のホームページでは、事業内容やニュース&トピックス、西本Wismettacグループの概要についてご紹介しています。また、株主・投資家情報のページでは最新の財務・業績の情報のほか、IRに関するニュース、IRライブラリーなど様々な情報をご提供しています。是非一度ご覧ください。



西本ウィズメタック

検索

<https://www.wismettac.com/ja/index.html>

# 世界の西本Wismettac



西本Wismettacグループは世界中で事業を展開しております。

## Wismettac EU Headquarters



Anthony Johnson

### Q どのように新しい顧客へのアプローチや、製品ソリューション開発に取り組んでいますか。

欧州では、既存ビジネスであるアジア食グローバルビジネスの販路を、総菜メーカー、フードサービス業界、小売、消費者へ直接アプローチすることができるECの4つに区分しています。チームでは「顧客重視」のアプローチを重視しており、各販路の飲食のトレンド、消費者のニーズ、市場のギャップ、価格設定、及びCSR要件を常に探求しています。これらの条件とお客様のニーズに合った提案を行うことで、ビジネスを勝ち取り、長期的に発展させるためのベストな機会が得られると考えています。

### Q 今までのキャリアは現在のビジネスにどのように活かしていますか。

過去のキャリアの中では、様々な視点を理解し、学ぶことができた英国大手小売業での経験が特に役立っています。商品開発、市場への導入において、「消費者と顧客を最も優先する」ということを昔から大事にして、キャリアを築いてきました。



Bhaven Pandit  
(Governance)

### Q 欧州での今後の事業成長やガバナンスにおいて現在課題と感じていることを教えてください。

現在Wismettacグループは欧州に4つの拠点を持ち、それぞれが独自の文化、価値観、ビジネス精神を持っています。ビジネスの成長を妨げることなく適度なバランスを保ちながら、Wismettacグループとしての全体の強みを生かした事業戦略を描いていく必要があると感じています。ガバナンスは、ビジネスを遂行するための安全な基盤を提供し、企業組織をサポートする必要があります。重要なのは、ガバナンスポリシーを観察、測定、及び適応させながら、マーケットでの成長を妨げることなく、ビジネスの成長をサポートするための重要なツールにすることです。

### Q 欧州における食の業界の特徴と、それを踏まえてどのような独自の戦略をとっているのかをお聞かせください。

欧州の食品業界は成熟した市場であり、これが競争の激化につながります。レストラン、卸売業、現地系のチェーン店など様々な販路での競争が見られます。現在の欧州のトレンドは、アジアのフュージョン料理とビーガン食が非常に注目されており、欧州のWismettacグループは市場でのシェアを拡大し続けることを目指しています。私たちの戦略は、市場をリードする顧客サービスと商品開発を通じて、コアビジネスである日本食レストランへの卸事業を成長させることです。また、Shirakikuブランドの新たな販路を開拓し、商品の刷新と新規開発を行うことで、事業の成長が加速すると考えています。このアプローチを欧州全体で一丸となって取り組むことで、より良いイノベーションを生むと信じています。

## News & Topics 「健康経営優良法人2021 (大規模法人部門)」に認定されました

社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人として、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2021」に認定されました。社員及び世界の人々のWell-Beingに貢献していく企業グループとして、さらなる成長を目指します。



## 株主優待のご紹介

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、年1回株主優待を実施しております。



### 株主優待制度の概要

#### ① 対象となる株主様

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様

#### ② 優待の内容(2020年度)

当社グループが運営する商品購入サイト「NISHIMOTO WORLD GIFT」でご利用いただけるクーポンコード(1クーポンコード=3,000円相当)を記載した優待券を、定時株主総会決議のご通知に同封し、贈呈いたします。

保有単元数(保有株式数)	クーポンコード個数
1~3単元(100株以上400株未満)	1個(3,000円相当)
4~6単元(400株以上700株未満)	2個(6,000円相当)
7単元以上(700株以上)	3個(9,000円相当)

※1回の商品ご購入で、1クーポンコードのみご利用いただけます。

WebサイトURL

<https://www.hello-worldgift.com/>

スマートフォン・携帯電話はこちらからアクセス



★初めてご利用の方は会員登録が必要です



2020年12月末日時点の株主様にご送付するクーポンコードのご利用期間 **2021年4月~2021年12月末日**

お問合せ先

Wismettacフーズ株式会社ワールドギフトカスタマーサービス

**0120-096-810**

9:00~17:00  
(土日祝、年末年始休業日を除く)

# 会社情報 (2020年12月31日現在)

## ▶ 会社概要

社名	西本Wismettacホールディングス株式会社 (英名)Nishimoto Co.,Ltd.
創業	1912年5月
本社所在地	東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階
資本金	2,646,177,532円

## ▶ 役員 (2021年3月30日現在)

代表取締役会長兼 社長 CEO	洲崎 良朗	取締役 (常勤監査等委員)	木村 敦彦
取締役	辻川 弘	社外取締役 (監査等委員)	能見 公一
取締役	佐々 祐史	社外取締役 (監査等委員)	大村 由紀子
取締役 グローバルCDO	行徳 セルソ		

## ▶ 国内・海外拠点

### (日本)

西本Wismettacホールディングス株式会社  
 ・東京本社、神戸本店 (※登記本店)

### Wismettacフーズ株式会社

- ・東京本社、神戸本店 (※登記本店)、神戸支店、神戸支店 東部営業所、沖縄駐在員事務所

### (北米)

#### Wismettac Asian Foods, Inc.

- ・Los Angeles Office (Corporate Headquarters)、Arizona Office、Atlanta Office、Chicago Office、Dallas Office、Denver Office、Miami Office、Hawaii Office、Houston Office、Las Vegas Office、New York Office、San Diego Office、San Francisco Office、Seattle Office、Washington, DC office、Toronto Office、Vancouver Office、Montreal Office、Orlando Office、Boston Office (Satellite Office)、Sacramento Office (Satellite Office)、Calgary Office (Satellite Office)、Ohio Office (Satellite Office)、Raleigh Office (Satellite Office)

### (アジア)

#### Wismettacフーズ株式会社

- ・バンコク駐在員事務所、ホーチミン駐在員事務所、ソウル駐在員事務所

#### 慧知旺食品商貿 (上海) 有限公司

#### 愛品盟果業貿易 (上海) 有限公司

#### NTC Wismettac Singapore Pte.Ltd.

#### 慧思味達日本食品有限公司

### (オセアニア)

#### NTC Wismettac Australia Pty Ltd.

- ・Sydney Office、Melbourne Office、Perth Office、Brisbane Office

### (ヨーロッパ)

#### NTC Wismettac Europe B.V.

#### Wismettac Harro Foods Limited

#### SSP Konsumgüter TRADE & CONSULT GmbH

#### COMPTOIRS DES 3 CAPS SAS

- ・Comptoirs Oceaniques
- ・Tropic Fish

## ▶ 株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	14,353,140株
株主数	4,990名

## ▶ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
多津巳産業株式会社	6,235	43.4
洲崎良朗	2,910	20.2
公益財団法人洲崎福祉財団	1,300	9.0
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	536	3.7
GOVERNMENT OF NORWAY	326	2.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	288	2.0
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	258	1.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	220	1.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	188	1.3
金井孝行	140	0.9

(注1) 上記の持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。

(注2) 持株比率は、自己株式112株を控除して計算しております。

## ▶ 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	12月31日
剰余金の配当の 基準日	中間配当 毎年 6月30日 期末配当 毎年12月31日
1単元の株式数	100株
取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって行います。 公告掲載URL <a href="https://www.wismettac.com/ja/ir/e-announce.html">https://www.wismettac.com/ja/ir/e-announce.html</a>

## 世界の食の架け橋として貢献

### Wismettac (ウィズメタック) とは



「地球それ自体」と「Globalism」をイメージした2つの球体を

- ・革新の「赤」+自然の「緑」
- ・「より健康で豊かな食生活へのあくなき挑戦の意思」

社名の「W」「M」「C」をモチーフとして造形化

[Wisdom]…西洋智

[Metta]…東洋智  
(パース語:優しさ/思いやり)

[Creativity]…価値の創造力

## 西本Wismettacホールディングス株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階  
Tel: 03-6870-2015 Fax: 03-6870-2016

